

---

# じゃあ殺してよ

二宮美伽理

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

じゃあ殺してよ

### 【コード】

N8584U

### 【作者名】

二宮美伽理

### 【あらすじ】

男と女の日常の二こまに寄り添う凶器

私たちの関係・・・

関係性をハッキリさせると終わってしまいそんな関係とでも言うべきか。

やることはやってるし、いつも一緒にいる。

かといって依存できない二人はずっと距離感を狭める事もできずにいる。

はじまると終わる事をとても恐れているのだ。

このアパートにふたりで暮らしていようが、誰に告げるわけでもなく、

友人とは何食わぬ顔をして互いに外で合うようにしている。

それはいつの間にか互いにそうしている。

他人はこの2人の現実を興味本位で色々口出ししてくるに違いない。

口には出さないが2人はそう思って消してこの部屋に友人を呼ばない。

二人が暮らす現実をこの世に知らしめる事もなく暮らしている。

とくにイチャイチャするわけでもない二人は暑い空気が増す8月の部屋で興味もない野球を見ていた。

「ねーこの前さ、テレビで浮気したらどうする？って話してじゃん？」

天井に足をのびしながら話している。そんな天井に届きそうもない足をみながら話を聞く。

「どーする？浮気されたら？」

「うーん どーしよつか？」

「何にも思わない？」

「やだけど」

「じゃあどーする？」

「嫌いになれるかなあー なれないだろうなあー……そうだな 浮気かあ……本気ではないんでしょ？」

「真剣に考えてる？」

「……真剣だよ」

いつの間にか天井に向けられていた足は床についていた

「そうだな……殺してもらっつ」

「誰を？」

「私をころしてもらおう」

「誰に？」

人差し指を向けられ、おどけるように驚く

「え〜？」

こうやって二人の恋愛話はいつも他人事のように進んでいく。

「1番とか2番とかそんなんじゃないかって、好きな人のど真ん中に陣取ってたいの。」

浮気ってテイスティングみたいなものじゃないのかな。

味が好みならその人を選んじゃうかもしれないでしょ。もしかしたらその味に飽きちゃうかもしれない。

そのテイスティング期間私はど真ん中に陣取れないじゃん……………。

そんな事続いたら殺してほしい」

「極端なんだよ……………こーゆー話して軽く終わらすもんだよ……………らしい回答だけどもね」

リモコンを手にとりテレビのチャンネルを変える横顔に少し苛立ち

が見えた。

「もう冷房付けようか？」

苛立ちを察したように立ち上がり冷房をつけた。

窓ガラスを閉め、冷蔵庫に向かう、

「ねえ」とキッチンから呼ぶと

ビールを差し出す手に首を横にふる。

ジュースを差し出すと手を伸ばしている。

ジュース缶を渡したその手は離れた瞬間後ろのソファのドサツという音とともに消え行った。

うつ伏せのままソファで考えている

(この生活は永遠に続くのだろうか・・・)

気付くと覗き込むようにソファに頭だけゆだねているその顔が少し笑って尋ねた

「まだ考えてる？」

質問に答えないままソファの背もたれに身体全体を向けなおす。

答えないその後ろから髪を触り遊んでいる。

お互いに何も考えてないなんて事は考ないそう思いながら、ソファ

「の背もたれに額をくつつけた。

髪の毛で遊ぶ指の心地よさに意識がゆるんで来ていた

後頭部をかきあげているその指が髪の毛を鷲掴みにした。

痛いわけでもないその強さに抵抗するわけでもなく、

背もたれにくつつけていたおでこは離れ、目線に髪の毛をつかんでいる顔が目に入る。

「殺してほしいの？」

「うん……」

状況の把握よりも幸せな感情があふれてきた。

今キスされても殺されても幸せな気持ちにそう大差はない。

この人のモノのになるのならどちらでもいい、出来れば永遠がいい。

そう思いながら身体をゆだねた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8584u/>

---

じゃあ殺してよ

2011年10月9日06時04分発行